

みずほCustomer Desk Report 2019/10/01 号(As of 2019/09/30)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	107.96 AUD/USD
TKY 9:00AM	107.95	1.0942	118.10	1.2295	0.6762
SYD-NY High	108.18	1.0948	118.12	1.2347	0.6770
SYD-NY Low	107.75	1.0885	117.56	1.2276	0.6741
NY 5:00 PM	108.08	1.0901	117.85	1.2296	0.6752
NY DOW	26,916.83	96.58	日本2年債	-0.3200	0.00bp
NASDAQ	7,999.34	59.71	日本10年債	-0.2200	2.00bp
S&P	2,976.74	14.95	米国2年債	1.6247	▲1.08bp
日経平均	21,755.84	▲123.06	米国5年債	1.5448	▲1.96bp
TOPIX	1,587.80	▲16.45	米国10年債	1.6672	▲1.90bp
シカゴ日経先物	21,895	165	独10年債	-0.5750	0.15bp
ロンドンFT	7,408.21	▲18.00	英10年債	0.4830	▲1.25bp
DAX	12,428.08	47.14	豪10年債	0.9650	1.90bp
ハンセン指数	26,092.27	137.46	USDJPY 1M Vol	6.55	0.45%
上海総合	2,905.19	▲26.98	USDJPY 3M Vol	6.56	▲0.09%
NY金	1,472.90	▲33.50	USDJPY 6M Vol	6.76	0.02%
WTI	54.07	▲1.84	USDJPY 1M 25RR	-1.50	Yen Call Over
CRB指数	173.94	▲1.78	EURJPY 3M Vol	7.16	0.01%
ドルインデックス	99.38	0.27	EURJPY 6M Vol	7.30	0.00%

東京	東京時間のドル円は107.95レベルでオープン。特段の新規材料のない中で、月末・半期末の70-等を受けて一時108.02まで上昇。しかし、108円台での滞留時間は短く、すぐに107円台後半まで押し戻されると、その後は動意に乏しい推移に。午後に入り日経平均株価や中国株が下げ幅を拡大する展開となると、ドル円もじり安推移となり一時107.76まで下落。その後、小幅に水準を戻し、107.84レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は107.84レベルでオープン。材料難に加え半期末であることや中国が10月1日から7日まで祭日(国慶節)となるため取引を控えている市場参加者が多いようで107円台後半で様子見となった。107.96レベルでニューヨークへ渡った。ユーロドルは下落した。1.0936レベルでオープン。独の主要経済研究機関が独の2019年度の成長率見通しを下方修正するとの報道に安値1.0906を付け、安値圏のまま1.0908レベルでニューヨークへ渡った。ポンドドルは軟調推移した。1.2300レベルでオープン。英4-6月GDP確定値は6年ぶりのマイナス成長となる。8月に発表された速報値から変化がなかったためGDPの市場への影響は限定的となった。しかし、英8月消費者向け融資は2014年3月以来の低迷となり、先週に続きプレグジットを懸念した実態経済への悪影響が確認されポンドは1.23台前半を中心に軟調地合いが続いた。1.2305レベルでニューヨークへ渡った。(00531 444 179 ロンドン・フリー 西海)
ニューヨーク	ドル円は107.96レベルでNYオープン。朝方は、NY連銀が翌日物利差で635億ドル(先週金曜は227億ドル)供給したことが明らかになり、期末のドル需要が改めて確認される中、独経済研究機関が今年、来年のドイツの経済成長を下方修正するとの報道を受け、ユーロ売りドル買いが強まり、ドル円は108.09まで戻す。その後一旦ドル売りが持ち込まれる局面もあったものの、その後ドル買いが継続し、108.18まで戻す。午後は、108.10付近での推移が続く、108.08レベルでクロスした。一方、ユーロドルは、期末のドル買い需要に上値を重くし、1.0908レベルでNYオープン。朝方は、前日にドラギECB総裁が英紙とのインタビューで欧州の財政出動を呼びかけたこともあり、欧州債金利が低下する中、前述の独経済研究機関の話も伝わり、ユーロ売りが持ち込まれ2017年5月以来に1.09を下抜けし、1.0885まで下落する。その後はショートのバネに一旦1.0914まで戻すものの上値は重く、午後に入りドル買いが優勢となったことから1.0894まで反落し、1.0901レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 関・森谷

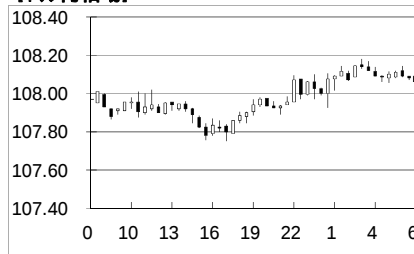
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月30日	08:50	日銀「主な意見」	-	-
	10:00	製造業PMI/非製造業PMI	9月 49.8/53.7	49.6/53.9
	10:45	Caixin製造業PMI	9月 51.4	50.2
	21:00	CPI(前月比/前年比)・速報	9月 0.0%/1.2%	0.0%/1.3%
	23:30	ダラス連銀製造業活動	9月 1.5	1.0

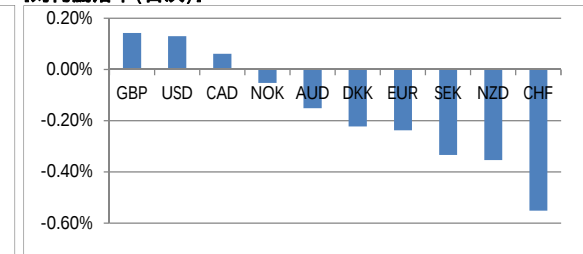
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月1日	13:30	豪 RBAキャッシュレート	-	0.8%
	16:55	独 マークait製造業PMI・確報	9月 41.4	41.4
	18:00	欧 コアCPI	9月 1.0%	0.9%
	18:00	欧 CPI速報値(前年比)	9月 1.0%	1.0%
	21:50	米 クラリダFRB副議長 講演	-	-
	22:45	米 マークait製造業PMI・確報	9月 51	51
	23:00	米 ISM製造業景況指数	9月 50.0	49.1
	23:00	米 建設支出(前月比)	8月 0.5%	0.1%
10月2日	01:45	欧 ドラギECB総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.80-108.80	1.0800-1.0950	116.50-119.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は、アジア時間は期末の5・10日であったものの目立ったフローはなく107.90円台で膠着した推移となっていたものの、日経平均株価が米政権の対中投資規制への警戒や香港での大規模デモを背景とした軟調な動きに210円超安まで下落すると107.76円まで下落する動きとなった。海外時間にドイツ経済研究機関がドイツの経済成長率見通しを下方修正するとの報道に加え、独消費者物価指数(CPI)速報値は予想を下回り、2018年2月以来の低水準となった事も相俟ってユーロ売りドル買いが強まると108.18円まで上昇し108.08でクロスした。本日は米国ではISM製造業景況指数が発表され注目される。8月の同指標では49.1という好不況の別れ目となる50を下回ったことで、ドル売りが強まった。9月以降、米中が追加措置に踏み切った一方、緊張緩和を模索する動きも出てきており、今般9月は50へとやや改善するとの市場予想となっており、期待を裏切らなければドル買い材料になるものと見込む。